

平成29年度 学校関係者評価委員会資料

行方市立北浦小学校

目指す学校像	自己評価	重点目標	教職員が発想・工夫を生かした活力ある学校運営 (PDCAマゼジメントサイクルの積極的な活用)		
			学校関係者評価	次年度への方向 (改善計画等)	
	評価項目	満足度指標	取組の状況	達成状況	評価者の意見
確かな学力を定着させることのできる学校 (「教職員アンケート」)	1 繰り返し指導を重視して、児童に基礎・基本を徹底させるための指導・工夫をすることができた。	【R29 指標】 ○学習指導要領のテスト県平均を 超える児童が50%以上 ○自主学習に取り組む児童 低60% 中60% 高70% ○読書数が年間で50冊を超える児童が75%	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○自主学習に取り組む児童 低40.4% 中71.6% 高75.1% ○読書数が年間で50冊を超える児童 1-3年 87% 4-6年 76% ・算数科授業で教師1人1回以上の授業研究を実施したことで、北浦小学校授業スタイルが定着してきた。これに継続して取り組む必要がある。 ・意欲を高めていくことが必要である。 ・基礎的・基本的な事項の定着を促すため、テスト結果の分析とテストの繰り返し活用を重視し、授業研究を推進している。また、授業研究の活用方法を個別指導の工夫改善に活用している。 ・家庭学習の充実を図るために、小中一貫の家庭学習の推進を図っている。これを有効活用するための工夫が必要である。 ・学習指導要領に基づき「読む力」「書く力」「話す力」の育成を図る。また、授業研究を推進している。また、授業研究の活用方法を個別指導の工夫改善に活用している。 ・家庭学習の充実を図るために、小中一貫の家庭学習の推進を図っている。これを有効活用するための工夫が必要である。	B	・教師自身が楽しさを加えることが大切である。更に子供たちが楽しさを味わうような授業を進めていくことが大切である。 ・読書数が年間50冊を超える児童が75% ・基礎・基本の徹底、繰り返し指導の徹底に努める際、各種テストの結果分析を基に、特に不足定着が図られていない内容と児童を把握し、そこを重点的に指導していく。 ・自主学習の課題の選び方や進め方について、事前に例を示すなどオリエンテーションを十分にすすめて取り組ませたい。 ・朝読書の時間を十分に確保するために、登校時の用意を終わらせた児童から順に読書を始めるよう習慣付けていく。また、家庭での読書習慣をつけるため、タブレットなどを活用し、推奨していくなど工夫を凝らす。更に読書の意義を徹底的に、教師のお手本の本の紹介など工夫した取組を実施していく。
	2 児童が、主体的・協動的に学習できるように指導・工夫することができた。	【R29 指標】 ○10日以上欠席率の児童が0.1%以下 ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童が90%以上 ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○10日以上欠席率の児童 3.84% ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童 91.4% ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示 ・週2回のスクールカウンセラー等の関わりにより、不適応を認めている児童への支援を行うことができた。児童の悩みが解決されたり家庭への対応が十分であるケースも多かった。 ・児童の悩みが解決されたり家庭への対応が十分であるケースも多かった。 ・児童の悩みが解決されたり家庭への対応が十分であるケースも多かった。	B	・児童同士が、お互いの良いところを認め合う機会があり大変良いことである。ぜひ、継続していくことが大切である。 ・いじめが発生した場合には、いじめた側の児童に対して事後関係をよく確認して対応してもらいたい。
	3 児童の挨拶・返事・言葉遣いについて、適切な指導をすることができた。	○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示 ○「道徳」特別活動による関係づくりを活性化させるように努める。 ○異学年交流の促進、話し合い活動の推進 ○道徳教育、国際理解協力等の積極的な推進に努める ○小中一貫教育による生徒指導の充実 ○特別支援教育の充実 ○特別支援教育の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○異学年交流の促進、話し合い活動の推進 ○道徳教育、国際理解協力等の積極的な推進に努める ○小中一貫教育による生徒指導の充実 ○特別支援教育の充実	B	
	4 北浦小学校授業スタイルを心がけて、指導・工夫することができた。	【R29 指標】 ○10日以上欠席率の児童が0.1%以下 ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童が90%以上 ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○10日以上欠席率の児童 3.84% ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童 91.4% ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	A	
豊かな心の育成 (「教職員アンケート」)	5 児童同士が互いのよさを認め、友だちと仲良くできるよう指導することができた。	【R29 指標】 ○10日以上欠席率の児童が0.1%以下 ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童が90%以上 ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○10日以上欠席率の児童 3.84% ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童 91.4% ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	B	・児童同士が、お互いの良いところを認め合う機会があり大変良いことである。ぜひ、継続していくことが大切である。 ・いじめが発生した場合には、いじめた側の児童に対して事後関係をよく確認して対応してもらいたい。
	6 児童の挨拶・返事・言葉遣いについて、適切な指導をすることができた。	○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示 ○「道徳」特別活動による関係づくりを活性化させるように努める。 ○異学年交流の促進、話し合い活動の推進 ○道徳教育、国際理解協力等の積極的な推進に努める ○小中一貫教育による生徒指導の充実 ○特別支援教育の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○異学年交流の促進、話し合い活動の推進 ○道徳教育、国際理解協力等の積極的な推進に努める ○小中一貫教育による生徒指導の充実 ○特別支援教育の充実	B	
	7 友だちの話をよく聞き、自分の意見を安心して話すことができるような雰囲気をつくり努めた。	【R29 指標】 ○10日以上欠席率の児童が0.1%以下 ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童が90%以上 ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○10日以上欠席率の児童 3.84% ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童 91.4% ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	B	
	8 学校のまじみや学級で決められた生活の約束を守ることができるように指導することができた。	【R29 指標】 ○10日以上欠席率の児童が0.1%以下 ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童が90%以上 ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○10日以上欠席率の児童 3.84% ○個別対応指導を月1回実施し、異学年の友達が増えたと言える児童 91.4% ○道徳コーナー「いいこと見付けた」に児童全体のいいことを掲示	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
健康な体の育成 (「教職員アンケート」)	9 運動量の確保を目指して、课间休や体育授業に元気に参加できるように指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	10 給食は、好き嫌いなく食べるように声をかけることができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	11 登下校の交通ルールやスクールの利用について、指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	12 児童に、テレビ・ゲーム・動画の視聴時間を意識させ、健康で安全な生活をするように指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
基本的な生活習慣の定着 (「教職員アンケート」)	13 家の人が友だちと先生に、いつも元気にあいさつができるように指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	14 ハンカチを身に付けさせ、給食前やトイレ後に手を洗うよう指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	15 作業や掃除の時間は、友だちと協力して取り組むことができるように指導することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	16 授業参観やPTA行事への参加を促して呼びかけ、保護者の意見に耳を傾けることができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
開かれた学校づくり (「保護者アンケート」)	17 児童の家庭での様子によく耳を傾け、児童理解に努めた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	18 学校・学級の様子がよくわかるように、お知らせ文書(学校・学級便り、保健便り等)を発行することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	19 忘れ物を減らすために、明日の準備や宿題をできるよう指導を工夫することができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	B	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
	20 児童が、宿題や家庭学習(学年で定めた時間)を進んで行うことができるよう手立てをとることができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。
21 児童が、郷土教育や国際教育に興味をもつて取り組むよう手立てをとることができた。	○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	【R29 指標】の達成状況及び実施 状況 ○体力テストA+Bの割合が全児童の70%以上 ○健康教育(食育、薬物乱用防止教育)の充実 ○安全教育(生活、交通、災害)の充実	A	・食育の指導に関連して子供たちは、どのような内容の朝食を摂っているのか心配である。朝食の内容についても十分把握して、対応することが大切である。 ・虫歯の治療がよくできているのか心配である。	
22 先生は、子どものよさ(個性)を理解し、公平に接していましたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	B	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	
23 先生は、いじめや悪いことをしたとききちんと指導していましたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	B	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	
24 先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価していましたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	B	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	
25 学校は、気になるところを相談しやすい雰囲気がありましたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	A	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	
26 学校の施設や設備の環境は、安全できちんと整備が行われていましたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	A	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	
27 学校での職員の対応は、礼儀正しく、丁寧で、親切でしたか。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	○保護者と連携を図り、適切な情報交換を行うことにより、一人一人の個性に応じた指導に努めた。 ○毎月、安全点検を実施し、分担任事故防止に努めた。	B	・情報発信について更に工夫を凝らすこと、更新頻度を増やしたりしていくことが学校への理解につながっていく。 ・エリア放送を活用することができるとあれば学校の教育活動について発信する方法の1つとして考えていくこと。	

【達成状況】 A 大きかった B 概ね大きかった C あまり大きかった D 大きかった